

報告：第8号

6月15日(火) 01 長沢達也 議員 答弁資料目次 (令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	連携中枢都市圏の形成について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	新型コロナウイルスワクチン接種について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	奨学金返還支援制度の導入について	企画財務部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	GIGAスクール構想推進の取組について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	特別市営住宅の今後の運営方針について	まちづくり部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1	がん患者の「アピアランスサポート事業」について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
7-1 7-2	おくやみ手続き窓口の一元化について	行政経営部長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

G I G Aスクール構想推進の取組について

- (1) 質問者 長沢達也 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

国は、G I G Aスクール構想において、これまでの我が国の教育実践と最先端のI C Tのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すこととしております。

本市におきましては、全36小中学校が共通認識を持って一人一台端末をはじめとするI C Tの活用推進に取り組めるよう、本年度、学校教育課内に新設された情報化推進係が、全体を統括する形で、計画的・組織的に取り組んでおり、この4月に、各校のI C T推進リーダーを指名したのを皮切りに、現在、これらの教員が中心となって、試行授業や校内研修を行っているところであります。

また、夏季休業中には、本市教育委員会主催の、教員の習熟度に応じた端末操作・活用に係る研修を行い、10月の本格運用に向けた準備を整えております。

更に、学校現場へのサポート体制につきましては、これまでにモデル校で実施した授業において、端末操作に不慣れな教員ほど、児童生徒の操作ミスへの対応が遅れ、授業が中断した事例が見受けられたため、新たに、端末活用に不安を抱える教員を対象に、授業場面に立ち会って、端末やアプリの操作のサポートを行う「G I G Aスクールサポーター」を配置することとし、それに係る経費を本定例会に計上したところであります。

報告：第8号

今後におきましては、全ての教員が不安なく一人一台端末を活用した授業を実施できる体制を整える中でICTを効果的に活用し、基礎的・基本的な学力の定着と一人一人の能力、適性などに応じた学びの実現に努めてまいります。

報告：第8号

6月15日（火）02 廣瀬集一 議員 答弁資料目次（令和3年6月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	「甲府市地域情報化計画」の実績と「甲府市デジタルソサエティ未来ビジョン」の推進について	市長	1
1-3	「甲府市デジタルソサエティ未来ビジョン」の「第一次アクションプラン」における成果指標とSDGsについて	行政経営部長	2
1-4	「甲府市デジタルソサエティ未来ビジョン」における「第二次こうふDO計画」の推進について	行政経営部長	3
1-5	「防災分野におけるデジタル技術等を活用した事業の推進」について	危機管理監	4

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	「第4次食育推進基本計画」の重点事項に対する「第3次甲府市食育推進計画」の対応について	市長	1
2-2	学校給食における地場産物を活用した取組について	教育部長	2
2-3	「第4次食育推進基本計画」の目標値の追加に対する「第3次甲府市食育推進計画」への対応について	福祉保健部長	3
2-4	コロナ禍における小学校給食の対応について	教育長	4
2-5	食に関する関係団体との取組や連携について	子ども未来部長	5
2-6	「甲府市食育推進計画」におけるSDGsの取組について	福祉保健部長	6
2-7	乳幼児期から学齢期における食物アレルギーへの対応について	福祉保健部長	7
2-8	「学ぶ機会」と「水源保全事業」の取組について	上下水道局 工務部長	8

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

学校給食における地場産物を活用した取組について

- (1) 質問者 廣瀬集一 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

国は、学校給食に地場産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用することは、地域の自然、文化、産業等に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に関する感謝の念を育む上で重要であることなどから、学校給食における地場産物を活用した取組を増やすこと等を目標としております。

こうした中、現在、本市においても工夫を図る中で、学校給食における県内産の食材数の使用割合を増やす取組を行っているところであります。

具体的には、県内産の食材は、流通量が少ないことなどにより、単一献立ですべての学校に一斉に供給することは困難であることから、小学校においては、地場産物をより多く提供できるよう献立のブロック制を導入するとともに、中学校においても旬の食材を可能な限り使用し、地場産物の提供に努めているところであります。

こうした取組により、県内産の食材数を使用する割合は、年々増加傾向にあります。

今後におきましても、献立作成委員会や物資選定委員会等を通じて郷土料理や伝統料理を献立に取り入れる機会を増やすなどより工夫を図る中で、学校給食への地場産物使用を更に増やすことができるよう取り組んでまいりたいと考えております。

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

コロナ禍における小学校給食の対応について

- (1) 質問者 廣瀬集一 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市では、新型コロナウイルス感染症対策として国が示した「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」等に基づき、献立の見直しによる配膳時間の短縮に努めるなど、様々な感染リスクの低減に取り組んできたところであります。

また、喫食中の飛沫感染を防ぐため、喫食時には会話を控えるとともに、すべての机を前向きにし、できる限り間隔を空けているため、友達と談笑しながら食べるというこれまでの給食の楽しさは制限されていると考えております。

しかしながら、子どもたちは、新型コロナウイルスまん延防止という学校生活における様々な取組や制限についてもよく理解し学校生活を安全に過ごせるよう頑張ってくれていると考えております。

一方、こうした静かな環境の中で児童が、給食の時間を過ごしているため、献立や食材の由来、栄養や食文化を学ぶお昼の放送を児童がしっかり聞くことができていることや結果として喫食時間が増えたことにより、食べ残し量は減少傾向を示しております。

今後におきましても、学校給食における感染症対策に万全を期す中で、食への感謝の心を醸成するなどコロナ禍においてもできる食育に関する取組を最大限推進してまいりたいと考えております。

報告：第8号

6月15日(火) 04 山田弘之 議員 答弁資料目次 (令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	市立甲府病院における医療従事者等への新型コロナウイルスワクチン接種の現状について	市立甲府病院 病院長	1
1-2 1-3	設備、備品の整備と個室等の使用料の見直しについて	市立甲府病院 事務局長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	新型コロナウイルスワクチン接種とPCR検査について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	スクールソーシャルワーカーの増員について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	「おしろらんど」について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	「創作の森おびな」におけるガイドライン等について	産業部長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

スクールソーシャルワーカーの増員について

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 6月15日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、不登校児童生徒への支援については、不登校となった要因を的確に把握し、学校関係者や家庭、必要に応じて関係機関が情報共有を図り、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな支援策を講じることが重要であるとしております。

このような中、本市教育委員会におきましては、学校危機管理担当の指導主事や生徒指導アドバイザーが学校から報告のあった事例について不登校のきっかけや継続理由等を分析したうえで、事例の内容に合わせ、様々な専門性を持つ人材が教員と連携・協働しながら支援にあたる体制をとっております。

今後におきましても、現行体制を維持する中で、スクールソーシャルワーカーを含めた多職種連携型の相談・支援体制を継続し、不登校等、児童生徒の抱える問題の解決にあたってまいります。

報告：第8号

6月16日(水) 05 小澤 浩 議員 答弁資料目次 (令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1	コロナ禍における持続可能な行財政運営について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2 2-3	健康づくりの推進について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	水素・燃料電池関連産業に対するこれまでの企業誘致への取組と今後について	まちづくり部長	1
3-2	メディカル・デバイス・コリドー推進計画との関わりについて	産業部長	2
3-3	リニアを活かした新たな産業の創出について	まちづくり部長	3

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2	タイ国との覚書の取り交わしについて	産業部長	1
4-3	「ジャパンジュエリーフェア 2021」の甲府市開催について	産業部長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
5-1	令和3年甲府市成人の日のつどい代替イベントについて	教育長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

令和3年 甲府市成人の日のつどい代替イベントについて

- (1) 質問者 小澤 浩 議員
- (2) 質問日 6月16日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 生涯学習課
- (5) 答弁内容

本市では、成人に達した方の、新しい門出を祝福するとともに、成人としての誇りと自覚を促すことを目的に、毎年、1月に「成人の日のつどい」を開催しております。

「令和3年 甲府市成人の日のつどい」につきましては、2部制にするなど、感染対策に万全を期して開催に向けた準備を進めておりましたが、年明けに、緊急事態宣言が発出される見込みとなった隣接する都県より多くの新成人の方々が帰省して出席することから、出席者の安全と市内での感染拡大を防ぐため、苦渋の決断ではありましたが、開催を見合わせることにいたしました。

こうした中、高齢者を対象とした新型コロナワクチン接種が7月中には、終了する見通しとなり、今後さらに、接種が加速していく見込みであることから、現状では、9月18日土曜日に小瀬スポーツ公園で「甲府市サンクスデー」として開催を予定している

ヴァンフォーレ甲府 対 大宮アルディージャ 戦に新成人の皆様を招待したいと考えております。

当日は、試合の観戦に加えて会場全体で祝福ムードを盛り上げるイベントなども検討しており、詳細が決まり次第市ホームページに順次情報を掲載するとともに、新成人の皆様には、個別に通知を送付してまいります。

新型コロナウイルスの感染状況は、予測が難しいところではありますが、

報告：第8号

まずは感染対策に万全を期し、懐かしい友人と共にふるさと甲府のチームを応援し、楽しいひと時を過ごしていただきながらも郷土愛を深めていただけるような機会にしてみたいと考えております。

報告：第8号

6月16日(水) 06 金丸三郎 議員 答弁資料目次 (令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	ジェンダー平等について	市長	1
1-2	ダイバーシティの観点からの女性職員の登用について	行政経営部長	3
1-3	本市におけるマイナンバーカードの活用について	市長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	総合市民会館について	教育部長	1
2-2	総合市民会館と遊亀公園との一体化構想について	まちづくり部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	リニア駅南側付近のフェーズフリー化について	危機管理監	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

総合市民会館について

- (1) 質問者 金丸三郎 議員
- (2) 質問日 6月16日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 生涯学習課
- (5) 答弁内容

甲府市総合市民会館は、市制施行100周年記念事業の一環として、「だれもが気軽に利用でき、市民の交流と生涯学習を促進する施設」や、「地方の文化・芸術を市民自らが育てるための施設」などを主たるテーマに、平成2年10月に開館し、本年で31年目を迎えております。

開館以来、本市の文化・芸術の向上や、生涯学習の推進を図る施設として発表会や演奏会、講演会などに活用してまいりましたが、近年、施設の老朽化が進んだことから、計画的に改修に取り組んでおり、これまでに、外壁改修工事や天井等の耐震化工事などを進めてきたところであります。

特に、昨年度からは、東京オリンピックにおける卓球のフランス代表チームが練習会場として使用することや、新型コロナウイルス感染症対策としての適切な換気を行うため劣化が進んでいる空調設備の改修を進めております。

また、当該施設は、これまでも、子どもたちが音楽に触れる機会や、著名な音楽家と市民が共演する演奏会など、市民が優れた文化・芸術に触れる機会を設け、観客の皆様や出演者から好評をいただいておりますが、今後におきましても、引き続き、本市の文化芸術の拠点施設として、新型コロナウイルス感染症の終息を見据えた設備の更新や維持管理等を進める中で、上質なコンテンツの提供に努めてまいります。

報告：第8号

6月16日(水)07 堀とめほ 議員 答弁資料目次(令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2 1-3	重層的支援体制整備事業の取組について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	新婚世帯に対する支援について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	交通災害共済の加入促進について	市民部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	不登校児童生徒へのICTの活用について	教育長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

不登校児童生徒へのICT活用について

- (1) 質問者 堀とめほ 議員
- (2) 質問日 6月16日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

令和元年度の全国の不登校児童生徒数は18万人を超え、依然として高水準で推移しておりますが、本市におきましても、同様の傾向が見られるところであり、不登校対策は喫緊の課題であると認識しております。

本市教育委員会では、これまでも、きめ細かな学習指導などの未然防止、月3日以上欠席の児童生徒への支援の開始などの早期発見・早期対応、あすなろ学級やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを活用した学校復帰の取組など、総合的な不登校対策を講じてきたところであります。

不登校児童生徒のICTによる在宅学習につきまして、文部科学省は、多様な教育機会の確保のために、その必要性を指摘する一方で、出席扱いとする場合には、家庭訪問等による対面指導が継続的に行われていること、計画的な学習プログラムに基づいていることなどの要件を満たすことを求めていることから、先進事例等の情報収集を行い、その効果的な運用の在り方について、調査研究してまいります。

また、端末導入1年目となる今年度は授業での円滑な活用を最優先としておりますが、今後、想定される端末の持ち帰りに対応するため、現在、そのルールづくりを進めるとともに、全児童生徒を対象に、家庭におけるネットワーク環境の調査を始めたところであります。

今後につきましては、本調査の結果も踏まえ、本市の実態に適した家庭での端末活用について検討してまいります。

報告：第8号

6月17日(木) 10 末木咲子 議員 答弁資料目次 (令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	不登校について	教育長	1
1-2 1-3	子どもの事故防止の取組について	子ども未来部長	2
1-4	熱中症対策について	教育長	3
1-5 1-6	カリキュラム・マネジメントと教育課程の進捗状況について	教育長	4

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	コロナ禍の女性活躍について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	職員が旧姓を使用しやすい職場環境づくりについて	行政経営部長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

不登校について

- (1) 質問者 末木咲子 議員
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省が令和元年度に実施した「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によれば、全国の小中学生の不登校数は、18万1272人であり、小中学校ともに、増加傾向が続いております。

本市の不登校の状況につきましては、平成30年度以降、小学校で顕著な増加、中学校では微増の状況であり、その背景は、学校における人間関係、学業上や発達上の課題のほか、親との分離不安、家庭環境などが見られ、欠席の状況も、連続しているケースから週何日かずつ休むなど様々となっております。

不登校児童生徒への対応につきましては、担任が定期的に連絡や家庭訪問をし、当該児童の状況を把握するとともに、その絆を強くする中で、学校へ復帰しやすい環境づくりに努め、本市教育委員会の指導主事や生徒指導アドバイザーが事例ごとに不登校の要因を分析し、学校における別室指導、あすなる学級での学習・生活の指導、スクールカウンセラーによるカウンセリング、スクールソーシャルワーカーによる家庭環境の改善と関係機関との連携等の支援を行っております。

今後におきましても、魅力ある授業づくりと、安心して過ごせる学級づくりなどの未然防止、月3日以上欠席児童生徒への支援開始などの早期発見・早期対応も含めた総合的な不登校対策を行う中で、早期の学校復帰につながる取組の強化に努めてまいります。

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

熱中症対策について

- (1) 質問者 末木咲子 議員
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省によれば、昨年度、学校管理下の熱中症事故は、全国で3,000件を超えており、今後の気候変動等の影響を考慮すると、ますます悪化していくことが懸念されるとし、学校における総合的な熱中症対策の推進を求めています。

こうした中、本市教育委員会では、予防策として、各校に、こまめな水分補給、運動強度の調節、適宜の休憩や「暑さ指数」(WBGT)に基づき、授業や行事の実施判断を適切に行うよう求めるとともに、熱中症警戒アラート発表時については、各校に対し、組織的な予防行動をとるよう指導しております。

また、コロナ禍を踏まえ、運動時のマスク着用は熱中症リスクを高めることから、身体的距離を十分に確保したうえで、マスクの着用は必要ないことや冷房時においても定期的な換気を行うこと等を本市独自の「新型コロナウイルス感染症学校対応マニュアル」に定め、熱中症予防と感染症予防の両立を図るよう指導しております。

更に、施設・設備面では、全普通教室への冷暖房設備に加え、今年度より、必要性の高い高層階や特別教室等での活用を図るためのスポットクーラーを各校に配備したところであります。

熱中症発生時の対応につきましては、各校において、校内連絡体制、応急

報告：第8号

処置、救急車要請の判断、保護者への連絡の在り方、職員の役割分担等について確認するとともに、職員を対象とした、応急手当や救命処置等に関する講習も行っております。

今後におきましても、熱中症は放置すれば死に至ることもあるとの認識のもと、未然防止と発生時の迅速な対応など総合的な熱中症対策を進め、児童生徒が安全・安心に学ぶことのできる環境づくりに努めてまいります。

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

カリキュラム・マネジメントと教育課程の進捗状況について

- (1) 質問者 末木咲子 議員
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、子どもたちに、情報化やグローバル化など急激な社会変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育の実現のためのカリキュラム・マネジメントの確立を求めています。

これを受け、本市教育委員会では、年度当初に各校に対して、教育目標と目指す子ども像の実現のための重点目標や具体的な教育活動、家庭や地域との連携などをまとめた、スクールプランの作成を求め、年度末には、教職員、保護者・地域等による学校評価を行い、PDCAサイクルに基づいた改善を図るよう指導しております。

また、各校では、スクールプラン及び学校評価の結果を学校だより等で周知し、家庭や地域の理解と協力による学校づくりを進めております。

次に、コロナ禍における教育課程の実施状況であります。昨年度につきましては、本市教育委員会が独自に作成した「学校再開のためのマニュアル」に基づき、各校が教育課程を再編成し、年度当初予定していた学習内容を全て終えることができたところであります。

今年度につきましては、昨年度の経験を踏まえ、感染防止を最優先としつつも、子どもたちの学びを止めない教育課程の編成を求めたところであり、各校においては、感染防止に配慮した授業の実施やコロナ禍による臨時休業

報告：第8号

や諸行事の延期等を想定した授業計画や行事計画を策定し、これまでのところ、順調に実施できております。

今後におきましても、各校が設定する教育目標の実現を図るための効果的なカリキュラム・マネジメントについて、必要な指導等を行う中でさらなる教育の質の向上に努めてまいります。

報告：第8号

6月17日(木) 11 天野 一 議員 答弁資料目次(令和3年6月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2 1-3	第3次甲府市観光振興基本計画に基づく観光施策について	市長	1
1-4	観光の振興における入湯税の活用について	産業部長	2

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1 2-2	SDGsの視点を踏まえた学校教育について	教育長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	農業版BCPの普及について	産業部長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1 4-2	「日本女性会議2021 in 甲府」について	市民部長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

SDGsの視点を踏まえた学校教育について

- (1) 質問者 天野 一 議員
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

国連は、2019年の総会決議において、すべての人が豊かに暮らす世界の実現に向けて必要な開発目標であるSDGsの達成のためには、持続可能な社会の創り手を育成するための教育（ESD）が、その鍵を握るとの認識を示しております。

このような中、文部科学省におきましては、2020年度より順次実施されております新学習指導要領において、初めて、その基本理念に「持続可能な社会の創り手」の育成を掲げ、その実現のために必要な教育活動の充実を求めており、例えば、小学校家庭科では、持続可能な社会の構築という視点から身近な消費生活を学んだり、中学校理科では、自然環境保全と科学技術利用の在り方を通して、持続可能な社会づくりの重要性を認識するなどSDGsを踏まえた学習内容が盛り込まれております。

本市教育委員会におきましては、新学習指導要領を踏まえた教育活動を確実に実施することが、SDGsの推進につながると考えており、各校に対し、適切な教育課程の編成や授業改善について指導しております。

今後におきましては、SDGsに係る理解促進やSDGsの視点からの授業づくりについての研修会などへの参加とともに、文部科学省が示す持続可能な開発のための教育（ESD）の優良事例等を参考にし、SDGsの視点を意識した教育活動がなお一層、行われるよう努めてまいります。

報告：第8号

6月17日(木) 12 寺田義彦 議員 答弁資料目次 (令和3年6月 定例会)

(分割方式) 2-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	65歳未満の新型コロナウイルスワクチン接種について	保健衛生監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	「健康都市宣言」制定後の本市の取組について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	健康ポイント事業のデジタル化について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	健康づくりにおける地域との連携・協働について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	民間企業との連携・協働について	企画財務部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	子ども未来応援条例施行後の取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
7-1	スポーツを通じた子どもの健全育成とスポーツ施設の整備について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
8-1	GIGAスクール構想の運用について	教育長	1

報告：第8号

6月17日（木）12 寺田義彦 議員 答弁資料目次（令和3年6月 定例会）

（分割方式）2-2

番号	質 問 事 項	答 弁 者	答 弁 順 番
9-1	保育現場・放課後児童クラブ等の感染症対策について	子ども未来部長	1

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

スポーツを通じた子どもの健全育成とスポーツ施設の整備について

- (1) 質問者 寺田義彦 議員
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 答弁内容

本市におきましては、「だれもが いつでも 身近に スポーツに親しむまち」を基本理念とした「甲府市スポーツ 推進計画」を、平成26年3月に策定しており、「子どもの 運動機会の充実」を基本目標の1つに掲げ、地域のプロスポーツチームや大学、競技団体等と連携した、子ども向けのスポーツ教室を開催するとともに、スポーツ少年団の競技大会の開催、及び指導者の育成などにより、スポーツによる子どもの健全育成と、競技力の向上に取り組んでおります。

施設整備につきましては、平成30年3月に策定した「甲府市スポーツ施設 整備基本方針」に基づき、今年度から整備を予定している緑が丘スポーツ公園においては、各種大会や競技スポーツの練習会場としての機能を持たせることとし、テニス場には、全国的に多くの公式大会に使用されている、砂入り人工芝のコートを整備するなど、競技力向上に資する施設整備を行うこととしております。

また、トイレの整備につきましては、近年では、玉諸小学校、中道北小学校において、学校施設の整備に伴い、校庭のトイレを再整備し、今年度は、中道スポーツ広場の体育館、青葉スポーツ広場の弓道場を、洋式に改修する予定であります。

校庭につきましては、各学校の状況を調査しながら、年次的に整備を進め

報告：第8号

ており、昨年度は玉諸小学校の整備を終え、今年度は善誘館小学校の整備を予定しております。

今後におきましても、計画的な施設整備に努める中で、子どもが遊びを通じて運動に親しむ機会や、様々なスポーツにふれあう機会を提供できるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでまいります。

報告：第8号

令和3年6月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

G I G Aスクール構想の運用について

- (1) 質問者 寺田義彦 議員
- (2) 質問日 6月17日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

本市のG I G Aスクール構想につきましては、現在、10月の本格運用に向けて、様々な準備を進めているところであります。

児童生徒の授業変化への適応と健康への影響につきましては、児童生徒用の端末操作マニュアルの配布や一人一台端末を使った学習活動において必須のスキルとされる、キーボード入力習熟のアプリを小学生の端末に追加するとともに、端末使用時の姿勢、画面の明るさと角度などに留意し、健康被害を防ぐよう指導しております。

教員のスキルアップにつきましては、昨年度中に、学校代表を対象とした終日研修と全教員を対象とした簡易研修を終えており、現在は、各校のICT活用推進リーダーが中心となって校内研修を行うとともに夏季休業中には習熟度に合わせた研修を予定しております。

また、10月の本格運用後に端末操作に不安を抱える教員の授業に立ち会って端末操作をサポートする「G I G Aスクールサポーター」の経費を本定例会に計上し、教員が不安なく端末を使った授業を行えるよう、取り組んでまいります。

今後におきましても、ICTの効果的活用により教員の「もっと良い授業をしたい」という思いを実現し、全ての子どもたちが、楽しく、生き生きと学ぶことのできる学習環境づくりに努めてまいります。

報告：第8号